

やあ こんにちは

俳優

# 辰巳 琢郎 さん

ソプラノ歌手

# 辰巳 真理恵 さん

知性・品格・遊び心と三拍子そろった俳優として活躍する辰巳琢郎さん。声楽家としての活動や、テレビのバラエティー番組や演劇への出演も精力的にこなす長女の真理恵さん。親子共演の機会も多いお二人に、家庭での様子やそれぞれの仕事のことなどを伺いました。

## 素晴らしい日本の文化を世界の国々へ発信



CHUNMAWAJYU

実は牛乳が大好きな辰巳琢郎さん。劇団に所属していたころは毎日のように飲んでいました。(住商こみゆにてい編集部)

(たつみ・たくろう) 1958年生まれ。大阪府出身。京都大学文学部在学中に「劇団そとばこまち」を主宰。1984年、NHK朝の連続テレビ小説「ロマンス」で一躍有名に。以来、テレビ、映画、舞台や海外旅行のプロデュースなど、幅広く活躍している。観光庁アドバイザー。

(たつみ・まりえ) 1987年生まれ。大阪府出身。東京音楽大学声楽科卒業。同大学大学院修士課程修了。『魔笛』パパゲーナ役、『ラ・ボエーム』ムゼッタ役、オペラ『源氏物語』三の宮役ほか、演劇等でも活躍。CD『乾杯の歌〜KANPAI SONG〜』も好評発売中。

### インタビュアー



自動車流通事業第二部 白井 孝彦さん



IT企画推進部 大井 順子さん



編集委員 辻之内 和基さん

### 医学部志望から音大受験へ180度の方向転換

**辻之内** 今回は、私が大学生のころに、真理恵さんの家庭教師をしていた縁で、お二人に「住商こみゆにてい」へご登場いただきました。

**真理恵** 医学部を目指していた高校生のころ、理数系が苦手だったので、家庭教師の先生として辻之内さんに来ていただきました。ただ、その後すぐに声楽家を目指して進路を変更したので、教えていただいたのは3カ月という短い期間でした。私のは後が弟がお世話になり、おかげさまで彼は無事に国立の医学部に進学しました。

**大井** 真理恵さんも、最初はお医者さんを目指していたんですね。  
**真理恵** 両親ともに医者の家系で、亡くなった大好きな祖父も外科医でした。小さいころから「男の中の男」と憧れていた祖父に、「真理恵ちゃん、白衣が似合うだろうね」と言われたり、赤くてかわいい聴診器をもらったりして、自然と「私は医者になるんだ」と思っていました。  
**白井** それなのに、どうして声楽の道へ？

**真理恵** もともと歌うことが好きで、これは両親にもまだ話したことがないのですが、子どものころは七夕に「歌手になりたい」と短冊にこ

そり書いていたほどです。小学校では合唱団、中学校ではコーラス部、高校ではミュージカルクラブに所属していました。

**辻之内** そもそもが、歌手志望だったんですね。

**真理恵** はっきりと自覚はなかったのですが、心の奥底にはあったのだと思います。両親には芸能の道は反対されると分かっていましたが、舞台の魅力にとりつかれながらの部活動と予備校で、進路に悩む日々でした。そんな高校2年生の春に、父も出演していた宮本亜門さん演出のミュージカル『キャンディード』に出会いました。ヒロインの歌を聞いた瞬間「これがやりたい」と、気持ちが決まりました。

**大井** 琢郎さんは、お嬢さんの進路変更を聞いてどう思われましたか？  
**琢郎** 基本的には反対でした。この世界は、好きという気持ちだけで生き残ることはできません。もし本当にやりたいのなら、きちんと教育を受けて音楽の基礎を学び、しっかりとした力を身に付ける必要があります。ですから、音楽大学に合格できたら、と条件を付けたんです。

### 深夜3時が辰巳家の「ミニミニセッションタイム」

**大井** ご自宅で、父娘でお話をする

ことはよくありますか？

**真理恵** 私は夜型人間なので、母や弟が先に寝てしまつて話し相手がいなときは、深夜の2時、3時に帰ってきた父をつかまえて、今、考えていることや、見に行った舞台の感想などをしゃべります。聞いているか聞いていないか、分からないんですけど笑。

**琢郎** よくしゃべる子だね。その日の出来事や悩み事など、延々と話しているんですよ。

**白井** 琢郎さんから真理恵さんへ、仕事についてアドバイスをされることもありますか？

**琢郎** 直接言つても、なかなか素直に聞きませんね笑。「どうせ右から左だろうな」と思いながらも、「舞台での立ち方やお辞儀の仕方にもっと余韻を残して」とか、「お客さまとのやりとりを大切に、感謝の気持ちを保持して」など、大事なことは言い続けています。

**大井** 私はアマチュアオーケストラでバイオリンを弾いているのですが、いつも緊張してしまいます。真理恵さんは舞台上立つ前に心掛けていることはありますか？

**真理恵** 私もやっぱり緊張します。でもガチガチだと良い演奏はできないので、リラックスできるように、自分一人で集中する時間をつくるようにしています。それから、自分の

テンションを下げるようなことはできるだけ避けたり、あとは睡眠をしっかり取ることも心掛けています。

**白井** 琢郎さんはいかがですか？

**琢郎** あんまり考え過ぎると余計に緊張してしまうので、出番ギリギリまで資料を読むなど、何かをしていますね。また短い睡眠を取るのも、気分転換には良いです。眠いとしても集中できないものなので、本番前に5分でも時間があつたらちよつと横になったり。すっきりしますよ。

### 父は何でも知っている「歩くワイン教本」

**白井** 琢郎さんといえば、ワイン通として有名です。

**琢郎** ワインのことを聞かれることが多いのですが、実は一番好きなのは日本酒。もともと食べることが好きで、おいしい料理にどんなお酒を合わせるか、ということを楽しんでいます。その街にワイナリーがあればワインを、酒蔵があれば日本酒をというように、地元のものを食べたいんです。その土地を知りたいんです。海外に行つてもそういう過ごし方です。

**辻之内** 地産地消ですね。  
**琢郎** はい。イタリアは特に楽しい

CHUNMAWAJYU

「つむぎも冷静沈着な白井さんはかっこいいのよ。」と、せむ私にもスマートなワインの楽しみ方を教えてくれたさ。 (広報部 山口洋さん)



### 辰巳琢郎さんプロデュース スパークリングワイン「今様」

山梨県産のブドウ「甲州種」と岩手県産の「山ぶどう」を使い、タンク内二次発酵を行った、辰巳琢郎さんプロデュースのスパークリングワイン。縄文時代から大切にされてきた日本固有の品種「山ぶどう」の厚みのある酸味と、日本に渡来して1000年以上の長い歴史を持つといわれているブドウ「甲州種」の繊細な風味が調和した、豊かな味わいです。



●マンズワインオンラインショップ  
<http://www.mannswine-shop.com/>

### インタビューを終えて

- 商社にいなから日本文化を世界に発信するという意識を持ってなかったと反省しきり。ご紹介いただいた日本ワインがとてもおいしくて、目からうろこの思いです。新しい発見がたくさんあった、楽しいひとときでした。(白井)
- 名刺に肩書きがびっしり! 「少しのんびりしたい」とおっしゃる琢郎さんですが、その忙しさを余裕で楽しんでいらっしゃる印象を受けました。ご両親に感謝しつつ目標に向かって突き進む辰巳真理恵さん、すてきでした。(大井)
- 短い家庭教師期間でしたが、当時から約10年にわたる良い関係を築かせていただき感謝しています。辰巳家の何事にも興味を持って取り組む姿勢に刺激を受け続けたいと思います。今後もお二人のご活躍を楽しみにしています。(辻之内)



### 日本の素晴らしい文化を 世界に発信していきたい

**辻之内** 『住商こみゆにてい』では、この1年のテーマを「夢」と設定しています。琢郎さんの少年時代の夢は何でしたか?  
**琢郎** 映画ばかり見ていた映画少年でした。学校が早く終わる定期テストのときは、試験勉強もせず映画を見に行ったりして、いつか映画を作りたいと思っていました。もっと

**白井** これからの夢や目標などはありますか?  
**琢郎** 今現在は日々の仕事に追われてしまっているの、ちょっとゆっくりにしたいですね(笑)。夢というか憧れですが、世界一周の船に乗って、本を読んだり、ダンスをしたり、囲碁を打ったり、3カ月くらいはのんびりしたいです。

**大井** 眞理恵さんの今後の目標は何でしょうか?  
**眞理恵** もっともっと、歌がうまくなりたいです。そして、一生クラシックを勉強し続けていきたいと思っています。ありがたいことに、歌以外にもテレビバラエティーや舞台など、父と一緒にさまざまなことに挑戦する機会をいただいているので、オペラやクラシックの魅力を、より多くの方に広めていくお手伝いができたらと思っています。

**辻之内** 最後に、住商社員へのメッセージをいただけますか?  
**眞理恵** 今日は普段なかなか接する機会のない商社の皆さんとお会いできて、とてもうれしかったです。すし、違う分野で頑張られている方々のお話にも、とても刺激をいただきました。私も、世界に通用す

**眞理恵** 産地や品種など、気になることはどんどん聞いて、自分の好きなワインを見つけています。父は、何でも知っている「歩くワイン教本」のような存在ですね。  
※辰巳琢郎の葡萄酒浪漫「B'sジャパン毎週日曜2時半」

と幼いころは、物書きになりたかったんですが。  
**大井** お芝居の道を志したのは、いつごろからだったのでしょうか?  
**琢郎** 高校2年生のときにつかこうへいさんの芝居に出会い、それから演劇の世界にのめり込んだんです。大学生のころには劇団を主宰するようになり、役者としてだけでなく、プロデューサーや演出家の役割も経験するようになりました。

**大井** 眞理恵さんの今後の目標は何でしょうか?  
**眞理恵** もっともっと、歌がうまくなりたいです。そして、一生クラシックを勉強し続けていきたいと思っています。ありがたいことに、歌以外にもテレビバラエティーや舞台など、父と一緒にさまざまなことに挑戦する機会をいただいているので、オペラやクラシックの魅力を、より多くの方に広めていくお手伝いができたらと思っています。

る歌い手になれるよう、頑張ります。海外公演に行けるようになったら、ぜひ案内してください。  
**琢郎** 商社の方々って、とても格好良いイメージがありますが、実は黒子の仕事が多いと聞きます。世界各地でその土地の情報を、おいしいものも面白いことも一番知っているのが、商社の人々です。そして、日本文化の素晴らしさを世界に発信できるのも、そんな商社の方だと感じています。日本文化というのは、ビジネスとして売り込むのにも、とても有望なジャンルだと思えます。ぜひ一緒に世界に向かって、日本の文化を売り込む仕事ができたらいいですね。



**大井** ワインに興味を持たれたきっかけは何だったのでしょうか?  
**琢郎** 『くいしん坊! 万才』という番組で1991年から3年間、リポーターをしていました。この番組では洋食のときには、必ずワインがテーブルに出ていたんです。番組スポンサーの手掛ける国産ワインでした。会食のときには高価なフランスワインを飲ませていただく機会も多く、自然に興味を持ち始めました。

**大井** 身近に最高のワインの先生がいるなんて、うらやましいです。  
**眞理恵** 父の影響が強過ぎたのか、「ワインインコール仕事」というイメージがあって、あまり好んで飲んでいませんでした。ただ昨年の夏にイタリアに短期留学し、その土地のワインを飲み、そこで初めて「おいしい!」と思えました。

**大井** ワインに興味を持たれたきっかけは何だったのでしょうか?  
**琢郎** 『くいしん坊! 万才』という番組で1991年から3年間、リポーターをしていました。この番組では洋食のときには、必ずワインがテーブルに出ていたんです。番組スポンサーの手掛ける国産ワインでした。会食のときには高価なフランスワインを飲ませていただく機会も多く、自然に興味を持ち始めました。

**大井** 眞理恵さんもワインは好きなんですか?  
**眞理恵** 父の影響が強過ぎたのか、「ワインインコール仕事」というイメージがあって、あまり好んで飲んでいませんでした。ただ昨年の夏にイタリアに短期留学し、その土地のワインを飲み、そこで初めて「おいしい!」と思えました。

**大井** ワインに興味を持たれたきっかけは何だったのでしょうか?  
**琢郎** 『くいしん坊! 万才』という番組で1991年から3年間、リポーターをしていました。この番組では洋食のときには、必ずワインがテーブルに出ていたんです。番組スポンサーの手掛ける国産ワインでした。会食のときには高価なフランスワインを飲ませていただく機会も多く、自然に興味を持ち始めました。

**大井** 眞理恵さんもワインは好きなんですか?  
**眞理恵** 父の影響が強過ぎたのか、「ワインインコール仕事」というイメージがあって、あまり好んで飲んでいませんでした。ただ昨年の夏にイタリアに短期留学し、その土地のワインを飲み、そこで初めて「おいしい!」と思えました。



美肌の秘訣は週5回のカレ。旅行やバイオリンなど多趣味で博識、公私ともに頼れる大井さんです。(1丁企画推進部 鈴木尚子さん)